

有り一事を思召出されられたり。此達所  
にありて、むすめりあいに事も難め思召るに  
彩田目村は、大御宗神社を勧進し、この社  
あり事を嘆息して、力をこめてに納めて、そ  
何事をしけり。とてめめふといふ。東鑑を  
外田記を考れむ。あるは、その事と檢  
む。人に見へ、有り。神事、は、玉子の本なり。ハ  
大社へ、奉仕勿論の事なり。社記ある。然  
を見、今の世の神職の、様は、斗心得、有り。大  
かり、誤なり。氏庶、は、熱訴を、嘆息して、事なる。陸

要、要、要、職、は、令、を、し、れ、有り。事、東鑑、は、見  
へ、有り。是、亦、の、文、義、を、以、て、を、職、を、考、え、る、人  
と、事、

羽源記、十、と、卷、曰、云、津、勢、退、散、の、系、に、元、月  
付、ある、を、江、と、あり。又、留、書、に、中、彩、の、二、家、五  
彩、田、目、村、ハ、本、ある、なり。彩、ある、ハ、拉、た、ハ、北  
目、村、ハ、あり。一、と、を、今、井、家、(二、五、上、出、羽、守、本  
より、留、守、本、) 卷、ハ、され、有り。書、状、あり。又、海  
田、堀、代、志、村、氏、五、五、上、本の、家、老、年、為、筑、後、より  
慶、長、六、年、八、月、十、二、日、所、業、大、炊、師、(海、され